育て会議を規定しました。 関として鎌ケ谷市子ども・子 に未設置であるため、その機意設置となる当該審議会は市

くこととされていますが、任村児童福祉審議会の意見を聞

国の基準では乳児または幼児

における乳児室の面積要件で

2点目、事業所内保育事業

1人につき1・65 ㎡以上のと

上へ拡充しています。千葉県 業の面積と同様に3・3㎡以

て設計を行うものです。

明

党

伊

幸

等を拡充し、

市職員が仕事と

る職員を対象とした部分休業 踏まえ、未就学の子を養育す 等に関する法律の一部改正を

地方公務員法の育児休業

ちらも1日につき2時間の範

び子育て部分休暇は、現在ど 備するものです。部分休業及 育児を両立しやすい環境を整

議案に対する 質疑

案 会 に 派 の て、 表 者 質 が し 長 ま の し 提 た 出

各 対 疑市

友 泉 \prod

洋

市職員のメリットは、

経緯を伺います。 議案第6号 本条例では、国の基準府 市独自の基準を導入する

るよう勧告するときは、市町その設備及び運営を向上させ 令に定める基準の例とする改 正をしますが、市独自の基準 を設けるものは2点あります に対し、国の基準を超えて、 家庭的保育事業等

年度のトイレ等改修工事と併 基づくカーボンニュートラル 用者の負担を最小限にして市 期間の休館を伴う工事となる せてLED照明改修工事を実 ことが判明したことから、利 設計を実施したところ、一定 施予定のトイレ等改修工事の 画でしたが、令和8年度に実 ゼロカーボンシティ宣言に 当初は、令和9年度の計

修事業について、実施計画に 乳児の安全面を確保していま 追加した理由を伺います。 未計上のLED照明の改修を 面積を広く確保することで 生涯学習推進センター改

可基準に合わせ、 に認可権限がある保育所の認 1人当たり

圏 国政選挙の公 程度か伺います。 見直され、最近の物価変動等 はめると、経費の増加はどの 正された公職選挙法施行令に に鑑み令和7年6月4日に改 度額は、参議院議員選挙前に 選挙、市議会議員選挙に当て 国政選挙の公費負担の限

準じて改正するものです。 ビラは8万3千20円、 はめると、立候補者8名を想 本年6月の市長選挙に当て

現在3歳未満の子を対象に部 分休暇を取得可能となります。 度任用職員は新たに子育て部 学校就学前までに対象を拡充 分休業を取得可能ですが、小 し、さらにフルタイム会計年 なお、会計年度任用職員は 等の行事などの必要な日のみ要がない場合、例えば保育園 的に部分休業等を取得する必 も取得可能となることで、

取得することも可能となりま 事と育児の両立支援がより図 す。また、勤務時間の途中で

主 党 河 内 朗

○議案第11号 民

立

引上げの理由と、直近の市長 選挙に関わる公費負担の

ラは2万80円、ポスターは1 実績は、立候補者2名で、 万3千92円の増となります。 ポスターは6万72円、 万5千18円、合計3万5千80 合計

選挙は、立候補3名を想定し 円の増となります。 令和5年4月の市議会議員

千90円の増となります。 は19万7千30円、合計26万4 ラは6万7千00円、ポスター 実績は、立候補者26名で、ビ 用ポスターは27万3千40円、 用ビラは9万3千60円、選挙た令和5年度予算では、選挙 合計36万6千級円の増となり

会 德 野 涼

未

来

○議案第16号~20号

事業が集中したことです。

3点目、物価高騰等を踏ま

基金残高が減額となった

令和6年度は約75億円と約6 億円、4・5%の増、人件費 令和6年度は約23億円と約5 決算額を比較すると、扶助費 では令和5年度は約6億円、 では令和5年度は約18億円、 化の進展や人件費の増などで 3点の要因があります。 1点目、全国的な少子高齢 基金残高の減少は、 8・9%の増となりまし 主に が見込まれますが、2、3年 区の開発動向などで市税の増 計からの補填を行い、この赤 険料の改定を行わず、 え、令和6年度は国民健康保 傾向が続くと見込まれます。 となったことです。 字繰入れ分が約4億5千万円 十葉県内市町村の推計では、 今後は、新鎌ケ谷駅周辺地 一面財政調整基金残高の減少 令和6年10月に公表された

また市職員のメリットを伺い 条例改正の経緯と概要、

うになります

内の取得形態を選択できるよ

に1年につき10日相当の範囲

議案第2号

歳入確保、歳出削減を行 ンの取組に加え、従来以上のるので、行財政改革推進プラ は厳しい財政状況が想定され

市民体育館や小中学校体育館は、避難所の環境改善のため

3つ目の防災対策の強化で

避難所となる体育館の改修な の整備、公共施設のLED化

を見通したまちづくりや緑道

2点目、北千葉道路の整備

近づいたと評価されるか伺い 目標に対し、どの程度成果に

掲げ、1つ目の新鎌ケ谷駅周 3つの事業を施政方針に の整備などを実施しました。 では、自転車歩行者専用道路 に着手、(仮称)緑道の整備における土地利用方針の策定 路沿線を含む市街化調整区域 る企業誘致の実現、北千葉道 が取得し、プロポーザルによ 新鎌ケ谷駅南側の県有地を市 辺地区を中心とした投資では

の助成、多子世帯への保育料 ども医療費、高校生等医療費 給食費の無償化の実現、市制 援では、小学校1年生の学校 及び学校給食費の減免を実施 記念公園水遊び場の開設、こ

りの実現に向けて、成果が上 げられたと考えています。 未来に希望を持てるまちづく 業に取り組み、 援のための事業など様々な事 業、さらなる子育て世代の支 力あるまちづくりに向けた事 谷地区のにぎわいの創出や魅 成した6年度予算は、新鎌ケ っていくという強い決意で編 施政方針に掲げた事業は 未来につなげる投資を行 公約に掲げた

認定を受けたメリットを伺い 住宅保存活用計画が文化庁の 国登録有形文化財澁谷家

活用する際、優先採択される 面や、財政面からの支援を受 ほか、今後の保存活用で技術 るようになり、国の補助金を 活用を適切に図ることができ るとの共通認識を持ち、 地域の大切な文化財であ 保存

について審査を行いました。 算及び1事業会計決算の認定 査内容は次のとおりです。 令和6年度鎌ケ谷市一般会 決 3特別会計の歳入歳出決 般会計についての主な審 算 審 査 特 投資・かまがやの街づくりを 事業を進め、未来につなげる いずれも当初の目標どおり 別

委

員

会

価しています。 加速化することができたと評

繰入金について、当初予

伺います。 問 決算全

決算全体の市長の評価を

年度の合計で約2億3千万円 億3千万円の補正をした理由 万円の繰入金を追加したもの 介護保険特別会計から約9千 和5年度決算の確定に伴い、 の繰入金を追加したほか、令 調整基金からの繰入れを行い 歳入歳出の差額について財政 算は約30億円であったが、3 補正予算編成に当たり、

けやすくなります 副委員長 委 委 委 委 員 長 富 久井 関 本 田 貝 和 信 俊 理悟仁惠

2つ目の子育て世代への支

議案番号等 件 議案第4号 を定める条例の制定について 議案第6号

令和7年9月会議の審議結果一覧 議案番号等 名 審議結果 件 名 審議結果 鎌ケ谷市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例の 制定について 令和7年度鎌ケ谷市一般会計補正予算 (第4号) 原案可決 全会一致 令和7年度鎌ケ谷市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) 原案可決 賛成多数 鎌ケ谷市職員の育児休業等に関する条例及び鎌ケ谷市職員の勤務時間、 暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決 賛成多数 鎌ケ谷市職員の特殊勤務手当に関する条例の一 一部を改正する条例の 鎌ケ谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条 議案第17号 令和6年度鎌ケ谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認 定 全会一致 原案可決 全会一致 定 全会一致 議案第18号 令和6年度鎌ケ谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 鎌ケ谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準 全会一致 議案第19号 令和6年度鎌ケ谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 定全会一致 議案第20号 令和6年度鎌ケ谷市下水道事業会計決算の認定について 定全会一致 鎌ケ谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制 原案可決 全会一致 議案第21号 嫌ケ谷市立図書館外壁等改修(建築)工事請負変更契約の締結について 同 意 全会一致 鎌ケ谷市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの 議案第22号 消防ポンプ自動車の購入について 意 全会一致 議案第7号 原案可決 事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について 議案第23号 消防団消防ポンプ自動車の購入について 意 全会一致 鎌ケ谷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定め 議案第8号 原案可決 全会一致 議案第24号 鎌ケ谷市市道路線の認定及び廃止について 原案可決 全会一致 鎌ケ谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定め 議案第25号 令和7年度鎌ケ谷市一般会計補正予算 (第5号) 原案可決 全会一致 議案第9号 原案可決 る条例の制定について 諮問第1号 人権擁護委員の推薦について意見を求めることについて 任 全会一致 適 鎌ケ谷市地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例の制定 原案可決 全会一致 議案第10号 発議案第1号 | 義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意見書 原案可決 全会一致 択 全会一致 陳情7-9-1 「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書 採 鎌ケ谷市議会議員及び鎌ケ谷市長の選挙における選挙運動の公費負担に関 議案第11号 原案可決 賛成多数 する条例の一部を改正する条例の制定について 陳情7-9-2 | 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書 択 全会一致 ※審議の詳細な内容については、11月中旬に市議会ホームページに掲載される会議録をご覧ください。